

服飾手芸シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
家庭科	服飾手芸	2	3	1～4

1 学習目標

学習の到達目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に制作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。		
使用教科書・副読本等	家庭総合 東京書籍	学習形態	文系の選択者

2 学習計画

<評価の観点> 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解

学期	月	学習項目	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	考查 範囲
1 学期	4	リエンション 身体の採寸	・被服製作の授業の目標等を理解し、実習計画を立てる。 ・身体の採寸箇所の名称を理解し、正しく採寸する。	1、2、3、 4		
	5	①実習：基礎縫い	・基礎的な布の扱い方、しるしつけを理解する。	1、4、5		
	6		・手縫いの基礎やボタンつけ、縫い代の始末を習得する。			
7	②実習：刺し子	・ミシンの扱い方を理解し、ミシン縫いの技術を向上させる。 ・手芸の変遷を理解し、手芸の技法を身につける。				
評価		基礎縫い、刺し子、染色、基礎テスト				
2 学期	9	④実習：自由課題1	・手芸の技法を洋服、和服、小物に取り入れ、オリジナル作品を制作する（シャツ、靴、帽子、小物など）	1、4、5		
	10					
	11	⑤実習：自由課題2				
12						
評価		自由課題				
3 学期	1	⑥実習：編み物	・手芸の変遷を理解し、手芸の技法を身につける。	1、4、5		
	2					

【年間の評価】

- ・制作物・・・基礎縫い、作品制作を評価する。授業・・・実習態度、出席状況を評価する。
- ・基礎テストを実施する

学習アドバイス

- ・実習中は、騒いだりせず安全面に充分注意すること。
- ・作品は、普段の生活で必ず使用できるものを制作すること。

保育基礎シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
家庭科	保育基礎	2	3	1～4

1 学習目標

学習の到達目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
使用教科書・副読本等	保育基礎 教育図書	学習形態	文系の選択者

2 学習計画

<評価の観点> 1 知識技能 2 思考判断表現 3 主体的に学習に取り組む態度

学期	月	学習項目	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	考查 範囲
1 学期	4	オリエンテーション 1章子どもの保育	① 保育の意義 ② 保育の環境	1、2、3、		
	5	2章 子どもの発達  3章子どもの生活	③ 保育の方法	1、2、3		
	6		① 子どもの発達特性 ② 乳幼児の発育と発達(保育園実習)			
	7		① 子どもの健康と生活 (調理実習) ② 子どもの食事			
評価	テスト、課題、実習態度					
2 学期	9	4章子どもの福祉  5章子どもの文化	② 保育にみる児童観 ② 児童福祉の理念と法規制	1、2、3		
	10		③ 子どもの文化の意義 ③ 子どもの文化を支える場 ④ 子どもと遊び(おもちゃづくり) ⑤ 子どもの表現活動 (幼稚園訪問)			
	11					
	12					
評価	テスト、課題、実習態度					
3 学期	1	保育の学習をふりかえろう	レポート課題	1、2、3		

【年間の評価】

・テスト、作品制作を評価する。授業・・・実習態度、出席状況を評価する。